

意見の概要と対応する協議会の考え方

No	頁	意見の概要	協議会の考え方
1	3	法華口駅行き違い交差設備を追加してはどうか。	ご意見いただいたとおり、法華口駅行き違い交差設備完成の内容を追加します。
2	9	加西カントリークラブがあるところが加西インターカントリークラブとなり、本来の加西インターカントリークラブがあるところは何もない。sora かさいがあるので、鶺野飛行場跡紫電改実物大模型展示は不要ではないか。加西 SA のシンエーフーズと神姫フードサービスの括弧書きも不要ではないか。	ご意見いただいたとおり、観光施設の立地状況図を修正します。
3	14	令和4年度は北条鉄道にキハ 40 形気動車が導入された効果もあり、利用者数が過去最高を記録する見込みがある旨を付け加えてはどうか。	ご意見いただいたとおり、記述するようにします。
4	32	日吉地区で運行しているひよたくはオンデマンド型であり、基本的には日吉地区のすべての地域がカバーされることになるが、今後、九会地区などでもオンデマンド型交通でのバス運行が始まるのが想定される中で、バス停勢圏のサービスをどう表現するか検討が必要ではないか。また、網形成計画との比較が必要ではないか。	現在のサービス地域人口の考え方としては、運行本数30本以上を「高サービス」、30本未満を「低サービス」としていますが、この考え方は定時定路線型交通の場合での考え方となります。本図ではオンデマンド型交通であるひよたくのエリアを「低サービス」地域として扱っておりますが、定時定路線型交通を含めたサービス地域と考えると、需要対応型のサービスであるオンデマンド型交通は高サービスとも言えることから、鉄道・バス勢圏図に含まれる地域を「サービス地域」として見直しを行います。網形成計画からのサービス地域の変化に関しては、煩雑となるため示しておりませんが、この5年間の間で約4%の不便地域減少という結果となっています。
5	34	2020年度の北条鉄道が多いのは、法華口駅行き違い交差設備に対して補助が増加したためである、というような注意書きを入れてはどうか。	ご意見いただいたとおり、注釈を追加します。
6	35	文章3段落目にある「障がい者関係では、実利用者が伸びないこともあり」は、「障がい者関係では、別で移動支援サービスの利用があり」に変更してはどうか。また、移送サービス(障がい者関係)のグラフにある2020年度の未実施というのは、利用がなかったということか。	文章3段落目の文章は、ご意見いただいたとおり修正します。移送サービス(障がい者関係)のグラフの2020年度に関しては、利用がなかったのではなく、コロナ禍によって実施できなかったため、未実施としております。
7	37~45	令和3年に実施された第6回パーソントリップ調査結果は公表されていないことから、今回の計画には盛り込んでいないということか。	ご意見いただいたとおり、令和5年2月時点で第6回調査結果は公表されていないことから、第5回調査結果を使用しております。

No	頁	意見の概要	協議会の考え方
8	51	加西市全体の課題にある「今後の人口減少の進展に対応した地域活力の向上」の「進展」は、「進行」という表現の方がよいのではないかと。	ご意見いただいたとおり、修正します。
9	58	「めざすべき公共交通ネットワーク」の考え方はとても良い。	ご意見いただきありがとうございます。「めざすべき公共交通ネットワーク」に示す考え方を目標に、加西市の公共交通を皆様にとって利用しやすい移動手段となるように維持・改善を図っていきます。
10	59	まちなか連携軸、市内連携軸に関して、ねっぴ～号の乗車数が非常に少なく、空車で走行している姿をよく見かける。バス停の明確化など必要ではないかと。 はっぴーバス、タクシー乗車の支援を行い、特に高齢者の外出の機会を促進して欲しい(外出率を高めることはフレイル予防にも繋がる)。 市外連携軸、地域内交通の充実を図り、外出の楽しみや行動半径を広めるなど、市外へ通学の利便を図ることが必要ではないかと。	ねっぴ～号の利用者数増加にあたっては、ご意見いただきましたバス停の明確化に関連して本計画の事業に挙げているバスロケーションシステムの導入やデジタルサイネージの設置などにより、住民の皆様にとって利用しやすいものとしていこうとしています。 はっぴーバスの乗車支援に関しては、運行内容の見直しや「フリー降車」区間の拡充などで外出機会を創出していきます。また、タクシー乗車の支援に関しては、既存の利用助成制度の周知等を行い、外出機会を創出していきます。 市外連携軸、地域内交通の充実を図るために、本計画の事業に挙げているとおり、地域主体型交通の導入や各種サービスの提供などで、外出の楽しみや行動範囲の拡大を図っていきます。また、コミュニティバスと北条鉄道の接続強化などを行うことで、市外への通学利便の向上を図っていきます。
11	74	自家用車が利用できない高齢者にとっては、コミバス、地域主体型交通の充実が望まれる。特にねっぴ～号を利用するにもバス停まで移動できない人にとっては、ドアツードアで移動できる乗り合いタクシーや地域が主体となった、ふれあいバスなどの運行が望まれるのではないかとと思う。	高齢者や障がい者など、クルマを気軽に利用できない人に対する対応としては、既に移動サービスを提供している福祉部局とも協議・連携しながら既存の公共交通・今後導入される公共交通と組み合わせ、誰1人とり残すことがないように移動をサポートしていきます。
12	76	「⑬駅や高速バス停における結節機能の向上」に記載があるパーク&ライド施設の整備及び利用促進は、はりま下里駅と法華口駅のロータリー化と駐車場整備が考えられるのではないかと。	いただいたご意見を踏まえて、利用需要に応じたパーク&ライド施設の整備及び利用促進を図るための取組を検討します。
13	85	北条鉄道で、ICカードがまだ使用できないことを初めて知った(殆ど乗車したことないので)。ぜひ、早急に導入して欲しい。今ではICカード利用は基本の「き」であろうと思う。	北条鉄道におけるICカードの導入に向けては、アンケート調査結果でも望まれていることであり、本計画の事業にも取り上げているため、重点事業として検討を進めていきます。

No	頁	意見の概要	協議会の考え方
14	89	<p>本ページにグリーンスローモビリティや電動バスの導入などの内容を盛り込んで、環境にも優しい公共交通への転換を謳うのはどうか。</p>	<p>P.54 において「本計画で対象とする交通手段とその位置付け」を整理しており、その中でグリーンスローモビリティや電動のモビリティを取り入れております。施策・事業の中には明確に示してはおりませんが、昨今の社会情勢からも公共交通としても環境面に配慮が必要と考えていますので、その点も踏まえて全体的な施策・事業の展開を図っていきます。</p>
15	103	<p>この経済性評価と公共性評価は、前回と同じで、既に協議があったかと思うのですが、変更する必要はないという解釈して問題ないか。</p>	<p>本協議会や加西市としても、今回の計画でも路線評価における経済性及び公共性評価の基準値はこのままとする旨を協議しておりますので、変更なしとさせていただきます。</p>